

小児がん経験者・研究支援

レモネードスタンド

わっしょい百万夏まつり
Kitakyushu

8月5日(土)・6日(日)

14:00~21:00

会場：勝山公園大芝生広場

北九州市小倉北区城内3

集まりましたお金は下記の2団体に寄付されます



JCCG
Japan Children's Cancer Group

NPO法人

日本小児がん研究グループ



小児がん経験者のための支援団体

にこそま九州

主催：株式会社東亜工業所
認定 NPO 法人にこそま九州
後援：北九州市

お問合せ先
認定 NPO 法人にこそま九州
TEL 092-553-6408 Mail info@nicosuma.net



Global Gold September Campaign

9月の世界小児がん啓発月間に合わせて、ゴールドセプテンバーキャンペーン 2023(GGSC)を開催します。小児がんの専門家で作る日本小児がん研究グループ(JCCG: Japan Children's Cancer Group)は、小児がんの啓発活動として、子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」ことを目的とし、全国各地でゴールドにライトアップし、様々なイベントを開催します。9月9日には、全国各地のライトアップを紹介し、小児がんについて知ってもらうためのメインイベントのWEB配信を予定されています。

ゴールドは小児がんの「アウェアネスリボン」のカラーで、乳がんの啓発カラーの“ピンク”のように、小児がんの“ゴールド”も知っていただきたいと考えています。

【北九州市でのライトアップ・イベント】

- ・北九州モノレールライトアップ
2023年9月1日(金)～9月9日(土)
- ・小倉城ライトアップ
2023年9月8日(金)～9月11日(日)
- ・レモネードスタンド 小倉城前歴史の道
2023年9月9日(土) 12:00～17:00



小児がんは、子どもにおこる悪性腫瘍（がん）の総称

日本では毎年 2,500 人程の子ども達が小児がんと診断されています。医療の進歩により大部分の病気が治るようになりましたが、それでも子どもの病死原因の 1 位で、毎年 500 名程の子ども達の命が失われています。

大人が罹患するがんは、肺がん・胃がん・大腸がんなどの臓器の表面部に起こる”上皮がん”といわれるものです。高齢になるにつれ増えるとともに、食事や飲酒、喫煙などの生活習慣があると考えられています。これに対して子どものがんは、白血病・悪性リンパ腫などの血液がん、骨肉腫・神経芽腫・脳腫瘍などの”肉腫”といわれるものがほとんどです。血液や筋肉、神経などの組織、脳などの体の深い所から起こるため、症状が出にくく、早期発見が難しいという特徴もあります。

もう一つ大きな違いはがん細胞の動き方です。大人のがんの多くは 1cm の大きさになるのに数年～5 年以上かかるといわれています。そしてがんがある程度の大きさになると、他の部位へ転移が始まります。一方、子どものがんは、全身転移のある状態で見つかることもあります。

小児がんの種類と部位



小児がんの子どもと家族が抱える悩みや負担

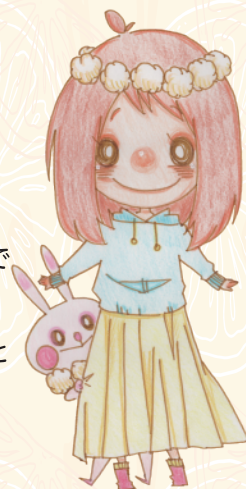
長期にわたる療養生活

小児がんの治療には半年から 1 年以上の長い入院・通院生活は避けられず、子どもだけではなく家族にも身体的・精神的な負担があります。特に入院中は子どもの社会生活が大きく制限されるため、遊び・学習・友達との関わり等の機会をどのようにもつかということも大切です。



治療後の問題

薬や放射線、手術などの治療や病気そのものの影響が後々まで残ったり、時には治療後にも影響が出てくることもあります。また、治療中のつらい体験や記憶が心の傷となってしまうこともあり、身体的なことだけでなく、精神的なこともあります。



周囲の理解

小児がんと診断されてから、また治療後にも進学や就職・結婚など生活の場が変化して新しい人と出会うたび、友達や学校の先生、職場の上司や同僚、周囲の人などに病気についての説明が必要になることもあります。入院や通院すること、学校や仕事を休むこと、あるいは治療の影響による外見や変化、生活の行動制限といった自分の状態についてどう説明するか、本人や家族が悩むこともあります。



仲間が存在

入院中は同じような境遇の仲間と過ごすことが多いですが、退院後は病気を経験した仲間と出会うことは少くないです。小児がん経験者が出会い交流する場は不安や悩みを遠慮せず話することができる貴重な場所となります。